平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールIA(SeminarIA)【鍋田ゼミ】		授業コード	E002415	
担当教員名	鍋田 耕作		科目ナンバリン グコード	E21201	
配当学年	2	開講期	前期		
必修•選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意また は履修条件	卒業要件として必修の科目です。				
受講心得	ゼミは発表・討論を通じて学ぶ場であ に行っていきます。そのためにも講義,				
教科書					
参考文献及び指定 図書	その都度紹介します。				
関連科目	社会福祉原論,高齢者福祉論,障害	者福祉論,児童福祉	:論, 地域	福祉論, 社会係	保障論など

授業の目的	(ゼミナールⅡA・ⅡB共通) 本講義では、PBL(Problem/Project Based Larning)を活用し、地域社会に起きている課題に ついてグループで「目標設定」→情報収集→課題整理→解決策立案→報告(発表)→振り返りを 1サイクルとしてグループ活動を行 PBLを通じて、社会人基礎力における「チームで働く力」及び「前に踏み出す力」の修得を目指 す。
授業の概要	プログログログ プログログ プログログ プログログ プログログ プログログ プログログ プログログ プログログログ プログログログ プログログログ プログログログログ プログログログログ プログログログ プログログログログ プログログログログ プログログログログ プログログログログ プログログログ プログログログログ プログログログログログ プログログログログ プログログログログ プログログログログ プログログログログ プログログログログログ プログログログログ プログログログログログログログ プログログログログログログ プログログログログログログログログログログログ プログログログログログログログログログログログ プログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : オリエンテーション	予習:講義の目的等について シラバスを確認する(1h) 復習:配布資料,板書等をもと に要点をまとめる(1h)
本講義の目的および内容等ついて説明します。また、履修状況の確認を行う	
第 2 ・ 3 アイスブレーキング 週 :	予習:アイスブレーキング の意義・目的について調べる(1h) 復習:配布資料,板書等を もとに要点をまとめる(1h)
第 4 週:PBL(Ploblem Based Larning)①一1	予習:PBL意義・目的について調べる(1h) 復習:配布資料,板書等をもとに要点をまとめる(1h)
PBLを実施するにあたってのグループ分け、課題の説明を行い、現時点でのチーム内での情報、課題についての認識を共有する	

第 5 週:PBL①—2	予習:課題についての情報 収集を行う(1h) 復習:配布資料,板書等を もとに要点をまとめる(1h)
設定課題について、チームで分担し情報収集を行い、課題を共有する	
第 6 週:PBL①—3	予習:グループで出された 課題を見直すとともに、解 決策について考える(1h) 復習:配布資料、板書等を もとに要点をまとめる(1h)
第5週目の情報収集・課題整理をもとに、解題解決に向けた方策について考える	
第 7 週:PBL①—4	予習:発表の担当部分について原稿作成等発表準備を行う(1h) 復習:配布資料,板書等をもとに要点をまとめる(1h)
第4週から第6週で調べ、まとめた内容についてグループ発表を行う。 ※5グループに分け発表会を行う。その中で代表を2チーム選出	
第8週: PBL①-5	予習:前回の発表会の振り返りを行う(1h) 復習:配布資料,板書等をもとに要点をまとめる(1h)
第7週で各グループから選出された代表チームによる発表会	
第9週:PBL①振り返り	予習:チーム目標, チーム 内での役割について確認 する(1h) 復習:配布資料, 板書等を もとに要点をまとめる(1h)
PBL①でのチーム目標の達成度,チーム内での役割などについて振り返りを行う	
第10週: PBL②-1	予習:PBL意義・目的について調べる(1h) 復習:配布資料,板書等をもとに要点をまとめる(1h)
PBLを実施するにあたってのグループ分け、課題の説明を行い、現時点でのチーム内での情報、課題についての認識を共有する	
第 1 1 PBL②-2 週 :	予習:課題についての情報 収集を行う(1h) 復習:配布資料,板書等を もとに要点をまとめる(1h)
設定課題について、チームで分担し情報収集を行い、課題を共有する	
第 1 2 PBL②-3 週 :	予習:グループで出された 課題を見直すとともに、解 決策について考える(1h) 復習:配布資料、板書等を もとに要点をまとめる(1h)

第11週目の情報 [」] 	又集・課題整理をもとに, 解題解決し	こ向けた方策について考える	
第 1 3 PBL②— 遇 :	4		予習:発表の担当部分について原稿作成等発表準備を行う(1h)復習:配布資料,板書等をもとに要点をまとめる(1h)
※5グループに分	型で調べ,まとめた内容についてグル ナ発表会を行う。その中で代表を25		
第 1 4 PBL②-5 遇 :		予習:前回の発表会の振り返りを行う(1h) 復習:配布資料,板書等をもとに要点をまとめる(1h)	
 第13週で各グル- 	-プから選出された代表チームによ	る発表会	
第 1 5 PBL②振 週 :	り返り		予習:チーム目標,チーム 内での役割について確認 する(1h) 復習:配布資料,板書等を
			もとに要点をまとめる(1h)
PBL②でのチーム	目標の達成度, チーム内での役割	などについて振り返りを行う	
PBL②でのチーム	目標の達成度, チーム内での役割	などについて振り返りを行う	
PBL②でのチーム 授業の運営方法			
	(1)授業の形式		もとに要点をまとめる(1h)
	(1)授業の形式 (2)複数担当の場合の方式	「演習等形式」	もとに要点をまとめる(1h)

○単位を修得するが	〇単位を修得するために達成すべき到達目標		
【関心·意欲·態 度】	グループワークに積極的に参加することができる。		
【知識・理解】	PBLに課題解決に必要な知識について理解している。		
【技能・表現・コミュニ ケーション】	グループワークにおいて、自分の考え・意見をメンバーに伝えることができる。		
【思考·判断·創 造】	PBLにおいて、現状分析を踏まえ、適切な解決策を提案することができる。		

〇成績評価基準(合計100点)		合計欄	100点	
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)		その他 成果)
【 関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。		30点		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含 む。		20点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点	15	点

【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	20点	

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	
レポート・作品等 (提出物)	講義でのレポートおよび講義への参加状況をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。	
発表・その他(無形成果)	講義でのプレゼンテーション(PBL発表)をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。	